

*楽しく「新春の集い」!



写真左は記念撮影。
左下は日中漢字ゲーム。
右下は豆まき



2月3日、町上会館で「新春の集い」が行われました。冒頭、中国語での「富谷町民歌」を全員で歌い、水戸会長の来賓紹介の後、町教育委員会・佐藤教育次長、相澤町議会副議長、中山県議会議員が、民間の友好交流、協会の活動に期待を寄せました。また県協会・武智事務局長からは4月予定の九台市への植林訪中の内容紹介と仙台市へのパンダ貸与の現状について話がありました。

今回は、学友会から甄(しん)広印さん、陸雪琴さん、覃(ちん)宇さん、丁紫玉さん、在仙・中国画家の侯殿昌さんが参加し、自己紹介、日中地名漢字読み方クイズや会員3人の鬼も飛び出した節分豆まきに楽しいひとときを共有しました。

「東京・北京 学生たちの対話—どうなる日本と中国」を視て 水戸憲子

昨年末、NHKで早大生と北大生代表たちによるテレビ討論が放映されました。日中関係について友好を望む学生達ですので、率直な意見と解決への期待が語られ、頼もしくも思いました。領有権問題は両国が譲れない問題としても「破壊行為はいけぬ。理性的な愛国心が大事」とか「日本の憲法改正は逆に刺激する」「過去の歴史に真摯に向き合い、被害者側の意識の深さを知ってほしい」などの意見に、現代史をあまり学んできていない日本人との違いもあと思いました。またお互いの国民や国情をあまりにも知らない、という共通点も見えました。一口に平和といっても、メディア報道だけではなく、相互の交流でありのままを見ていく、知っていく事が何よりも大切であると教えられた番組でした。

ひろば
「広場」

☆募集☆
毎月25日
締め切り

「富谷町で人口5万人突破」

昨年12月21日、富谷町の人口がついに5万人を突破しました。1月5日、町スポーツセンターで行われた新年祝賀会では、セレモニーとしてくす玉開花も行われました。

「仙台華僑協会」で新年会

在仙の中国人や日中友好協会関係者などが集い、1月27日、仙台市内の中華料理店・天地人で行われました。会長の小林巖さんの挨拶や県日中友好協会の江幡会長、中国・駐新潟総領事館の紅燁(こうよう)領事室長、公明党・井上幹事長秘書らが新年の祝辞と共に日中友好への思いを語りました。

鑑賞 特別展「書聖—王羲之(おうぎし)」

日本で発見され話題となっている最古の模写「大報帖」も含め、肉筆が戦乱で失われ、唐代の皇帝が作らせた精巧な模本等が見どころ。約160点の国宝、名品を選びすぐっている。東京・上野の国立博物館平成館。一般1500円。3月1日まで。

「空飛ぶ芸術—山東省濰坊(いぼう) 凧(たこ)の世界展」

山東省濰坊市の伝統工芸である職人手作りの凧を紹介。立体の物や30cmの珍しい中国凧など約120点が展示される。2月24日まで。日中友好会館美術館で。入場無料。JR飯田橋駅東口下車で徒歩7分。☎03(3815)5085。

読書「日本の領土問題」(保坂正康・東郷和彦著 角川oneテーマ21 800円)と「対論! 日本と中国の領土問題」(横山宏章・王雲海著 集英社新書 777円)

日中間の難問について、様々な観点から出版が相次いでいる。立ち読みした範囲で選び読んでみたが、冷静にしかも歴史、外交、経済、国民性等多くの論点が知れて、お勧め。なお前書には竹島、北方四島も書かれ、尖閣諸島を考える上でも参考になる。友好の眼で、正しく認識し、相互が時間をかけ話し合う“急がば回れ”が大事と思ったが如何!